

水槽のそうじ



そうじをするワケ

ろ過器が十分に機能していても、時間がたつにつれ、どうしても水槽内にコケや汚れがたまってくようになります。このような水槽内のコケや汚れは、ろ過器では取りのぞくことができないので、そうじを行わなくてはならないのです。しかし、必要以上に水槽や砂利を洗ったり、水を全部かえたりすると微生物が減ってしまい、ろ過する力が弱くなってしまいますので注意しましょう。

そうじ道具の種類

そうじを行う場所にあったそうじ道具を使うと、そうじをラクに素早く行うことができます。水槽内のガラス面についたコケは、そうじを行うときには必ず取りのぞくようにしましょう。ガラスのコケを拭く時には、ガラスをキズつけない専用のクロス(布)を使用するとよいでしょう。水槽はシリコンでガラスを張り合わせてありますので、この部分をひっかいてキズつけないよう注意して作業を行ってください。砂利のそうじには、砂利の中にたまったゴミを水ごと吸い出す便利な器具が用意されていますので利用するとよいでしょう。

コケクロス

吸収力抜群のコケ取り用クロス。コケの水槽内の散乱や再発生を防ぎます。



コケクロス10枚入り ¥350

とってもコケクロス

コケクロスを先端に付け、手を濡らさずにコケ掃除。スクレーパー付き。



とってもコケクロス ¥600

ニュープロホース

水かえと砂利そうじが一度にできる水槽そうじのスタンダード商品です。



90cm水槽用・¥1,600 45~60cm水槽用・¥1,200 30~40cm水槽用・¥1,100
※表示価格はメーカーの希望小売価格(税別)です

ろ過器のそうじ

ろ過器のろ材は、目がつまってきたらそうじする必要があります。ろ材は、表面の大きなゴミを取りのぞく程度にしましょう。洗いすぎるとろ材の形がくずれたら交換しましょう。

ポイント 水槽の全体そうじは微生物がいなくなってしまいます。キレイにしすぎないようにしましょう。